

公開講座『おまちゼミ×県大 静岡で学ぶ世界の文化』 「映画祭の街、サン・セバスティアン」

本年度は「日本・バスク地方交流年2023年」にあたり、バスク政府は日本各地でバスク製品のプロモーションを行っています。これにちなんで、スペイン出身の映画史研究者、ダニエル・アギラル先生にバスク地方のサン・セバスティアンについてお話しいただきます。サン・セバスティアンは美しい海岸と美食を誇るスペイン随一のリゾート地で、毎年9月に開催される国際映画祭でも有名です。本講義ではこの映画祭を軸に日欧の映画を通じた文化交流や主会場となる3つの有名建築について扱います。

講師プロフィール:ダニエル・アギラル (Daniel Aguilar)

1966年、スペイン・マドリッド出身。映画史家、翻訳家。太宰治、夢野久作、江戸川乱歩、鶴屋南北、海野十三、谷崎潤一郎、水木しげるなどの幅広いジャンルの作家の翻訳を手掛ける。『デス・カップ』、『シン・ゴジラ』などに俳優として出演。サン・セバスティアン国際映画祭駐日デレグート。

「県大×おまちゼミ」とは？

静岡県立大学国際関係学部の教員が企画する公開講座です。海外にゆかりのあるゲストを招き、マンガや食文化など親しみやすいテーマを取り上げます。

日時：7月18日（火）10時40分～12時10分

会場：国際関係学部棟3階3215教室

参加者：無料。参加ご希望の方は右記のフォームよりお申し込みください。（一般先着15名まで・先着順）



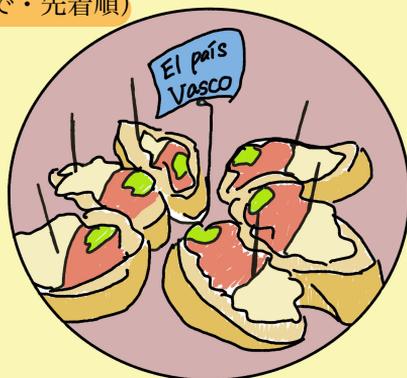
主催:県大×おまちゼミ実行委員会

後援:静岡県立大学広域ヨーロッパ研究センター

お問い合わせ:静岡県立大学国際関係学部・教員 森直香

naokamori@u-shizuoka-ken.ac.jp

*本講義は大学院特別講義費の助成を受けたものです。



Marami